

事業団からのお知らせ

★甲府市の個別方式による特定健診・がん検診を受け付けています

健診の対象は

- ①40～74歳の特定健康診査受診券をお持ちの方
- ②75歳以上で後期高齢者健康診査受診券をお持ちの方
- ③40～74歳の国保以外の健康保険加入のご家族の方で受診券をお持ちの方

○健診日 1月10日（金） 1月14日（火） 1月31日（金） ※1月末で終了です
○受付時間 8：30～ 9：00～ 9：30～ 10：00～

甲府市個別健診に関するお問い合わせ、お申し込みは・・・
055-225-2802 ※月～金(祝日除く)9：00～17：00

★レディース健診（乳がん・子宮がん・骨粗鬆症）

○健診日 1月14日（火） 1月31日（金） 2月5日（水） 2月19日（水）
※子宮がん検診は1/31・2/19のみです。

○受付時間 13：30～14：30

○健診料金 マンモグラフィ 2,200円
乳腺超音波 2,000円
子宮頸がん 3,000円
骨粗鬆症 超音波法 1,000円

レディース健診に関するお問い合わせ、お申し込みは・・・
055-225-2800 ※月～金(祝日除く)9：00～17：00

※詳しくは、山梨県健康管理事業団ホームページをご覧ください。

～山梨をめぐる～ 山中湖と富士山

健診で県内を回る中で、写真をパシャリ。今回は、山中湖から見た富士山。



（撮影：放射線課 北村廣志）

山梨県
健康管理
事業団

だより

平成26年 新年号



【発行者】



山梨県健康管理事業団
〒400-0034
山梨県甲府市宝1丁目4-16
055-225-2800(代)
<http://www.y-kenkou.or.jp/>

山梨県健康管理事業団設立30周年を迎えて

去る11月27日、山梨県健康管理事業団設立30周年の記念式典を富士屋ホテルにおいて執り行いました。山梨県知事をはじめ、多数の皆様のご列席をいただきました。

山梨県健康管理事業団は、昭和58年4月に山梨県、医師会、市町村の3者で設立されて、今年で30周年を迎えました。県内の健診機関との競合や自主・自立の厳しい経営で、これまで決して順風満帆ではありませんでした。ここに至るまでの関係各位、皆様方の暖かいご支援・ご理解に対して感謝、御礼申し上げます。

現在は、主に市町村住民健診や職域等企業健診、県・地区教育委員会の学校健診などの健診事業を行い、県民の健康維持増進に貢献しております。

がん対策事業では、シンポジウム・講演会の開催、街頭キャンペーン、県民の日等のイベントに参加しております。また、県から委託によりがん患者サポートセンターを開設し、がん患者や家族が抱える悩みや不安といった相談に医師や保健師、がん患者自らが対応しております。

30周年を契機として、新たな決意のもと、健診施設や健診機器の整備に努めると同時に、健診の精度管理や医療技術の向上に努め、県民一人ひとりが健康で安心して暮らせる社会をになるよう、より一層充実した健診を行えるように邁進してまいります。

今後も引き続きご支援・ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

（30周年記念式典・講演会の様子）



設立30周年 記念講演会 内容

「高齢社会における健診事業のあり方を考える」 ～ 健康管理事業団の30年と今後 ～

おさだ ただよし

長田 忠孝 医師 (財)山梨県健康管理事業団 理事・診療所長

飯富病院名誉院長

長年、峡南地域の在宅医療に尽力



長年の峡南地域に密着した在宅医療活動、30年にわたる肺がん検診への寄与とそれに伴う当健康管理事業団との当時からのつながりなど、豊富なこれまでのご経験を振り返りながら、現在および今後の社会情勢の展望についてお話しいただきました。

また、それらを踏まえた社会保障・医療体制の今後のあり方、更なる高齢化社会を迎える中で健診事業の位置づけとその果たす役割について、多彩な資料にユーモラスな川柳などを交えて熱く語っていただきました。

「検診も 仲間に入れて安心 地域包括ケア」

「二つ三つ がんを活かして 天寿かな」

「大切なあなたに」



あなみ りえ
(公財)日本対がん協会 **阿南 里恵 氏**

23歳の時に子宮頸がんを発症
学校、各団体など講演活動を行っている

23歳という公私共に将来への希望に満ちた時期に突然子宮頸がんを発病。診断、手術からその後、今日に至るまでのさまざまな心の動きや家族の絆などについて、貴重なご経験をお話していただきました。また、自らのがん体験を語ることによって多くの人にがんについて知り、考えていただく現在の活動、がんという病気を経験することで得られる人生の贈り物「キャンサー・ギフト」に関することなど、終始穏やかに、しかし情熱的にお話しいただきました。

当健康管理事業団でも、日本対がん協会山梨県支部として今後もいっそうがん対策の普及・啓発活動に寄与してまいりたいと思います。

県民の日記念行事に参加しました

平成25年11月16日(土)、17日(日)に小瀬スポーツ公園で開催された「第28回県民の日記念行事」に参加しました。

- ・医師による「がん相談・健康相談」
- ・骨密度測定(超音波法)
- ・血圧測定、活力年齢測定

また、乳がん視触診モデルやパネル展示などを行い、両日とも天候に恵まれ多くの来場者で賑わいました。2日間で12名が医師による健康相談を利用、158名が骨密度の測定を受けました。他にも乳がん視触診モデル体験者(40才以上)の希望者に「乳がん無料クーポン」の配布、また来場者にチラシ付のドリップコーヒー、ティッシュ、花の種、がん予防関連冊子も配布して、がん検診受診率向上に向けた普及啓発活動を行いました。



平成25年度 結核予防会 関東甲信越ブロック会議 開催



平成25年12月6日、「平成25年度結核予防会関東甲信越ブロック会議」を健康管理事業団が当番県として、開催いたしました。

COPD(慢性閉塞性肺疾患)スクリーニング検診と禁煙指導教室の実施状況、検診事業における胸部らせんCT撮影について、X線検査車での巡回検診時の同乗、医師立会いについてなどの14議題について趣旨説明を行い、各県支部で議論を行いました。

国のCOPD対策も始まり、厚生労働省の第2次「健康日本21」の中にもCOPDの啓発事業が盛り込まれ、健診等の場において禁煙への働きかけが望まれるとされています。今回参加した支部の中でも積極的に取り組んでいる支部や現在は取り組んではいないが今後に向け検討したい支部がありました。

胸部らせんCT撮影のできる検診車両は整備するのに1台あたり9千万円から1億円かかるということで、県の補助が受けられる支部は整備していましたが、まだ主体からの依頼は少ないということでした。また認定技師や認定医師の必要性があるとの事でした。

X線検査車での巡回検診時の同乗、医師立会いについては、診療放射線技師法の法改正に向けて各団体、自治体等からの要望が提出されていると結核予防会本部から報告がありました。

その他の議題についても議論がされ、各県支部今後対応していくということでした。